

決算書シュミレーション

～ある事象が起きたとき、決算書はどのように動くのか～

<ねらい>

米中貿易摩擦が激しくなり、不透明な要因が散在し、将来の環境が見えにくくなってきた昨今の経済状況の中で、過去の決算書だけに依存して意思決定をしてしまうと大きな判断誤りになりかねません。企業活動は連続したものであって、将来を予測する必要があります。

この際に生かせる知識が決算書シュミレーションです。企業の将来像をいかに予測するか、また、企業の経営戦略や事業計画の実行可能性も判断することができます。

本講座では、決算書がどのように動くのかを行うためエクセルをつかって決算書をシュミレーションしていきます。ある経済事象が起こった場合に、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書がどのように動くのか、エクセルシート 1 枚を使って解説していきます。その上で、その経済事象が起きた場合に、どのように財務指標が変化していくのかを見ていきます。また、予想損益計算書の作成についても、シュミレーションを応用して解説していきます。

<カリキュラム>

1. 決算書の基本構造と財務指標の基本
 - ・貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の役割
 - ・基本的な財務指標の考え方
2. 基本的なシュミレーションと財務指標の動き
 - ～基本的な財務指標の動きをシュミレーション前後で見る。
 - ・商品を現金で販売した場合
 - ・商品を売掛金で販売した場合
 - ・商品を現金で仕入れた場合
 - ・商品を買掛金で仕入れた場合
 - ・固定資産に投資をした場合
 - ・借入金を借りた場合
3. 事象が起きた場合のシュミレーションと財務指標の動き
 - ～基本的な財務指標の動きをシュミレーション前後で見る。
 - ・不要な資産の売却をしたらどうなるか？
 - ・不良在庫、不良債権が発生した場合はどうなるのか
 - ・増資をすることによってどうなるのか？
4. 複合的なシュミレーションと財務指標の動き
 - ～基本的な財務指標の動きをシュミレーション前後で見る。

- ・資産売却を行って有利子負債の削減をしたら
 - ・増資をして有利子負債の削減をしたら
5. 予想損益計算書のシュミレーション
- ・売上予測の方法（需要予測も含めて）
 - ・コストの分類（変動費、固定費の分類）
 - ・予想損益計算書を作成するのに必要なことは
 - ・目標営業利益を達成するために必要なことは
 - ・

以上